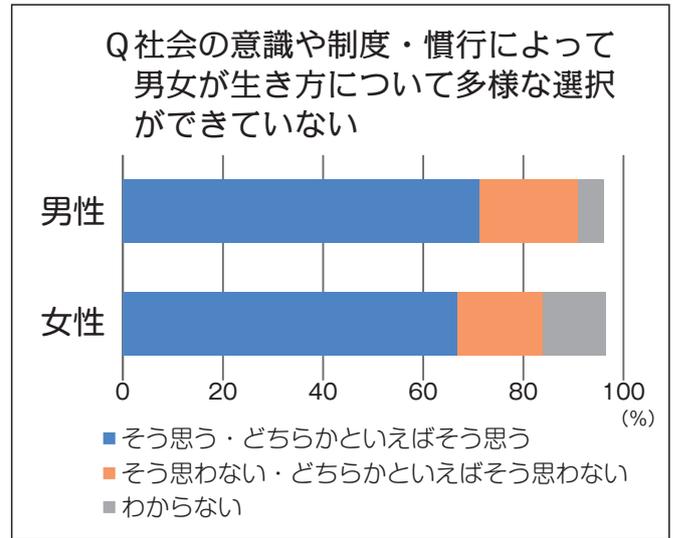
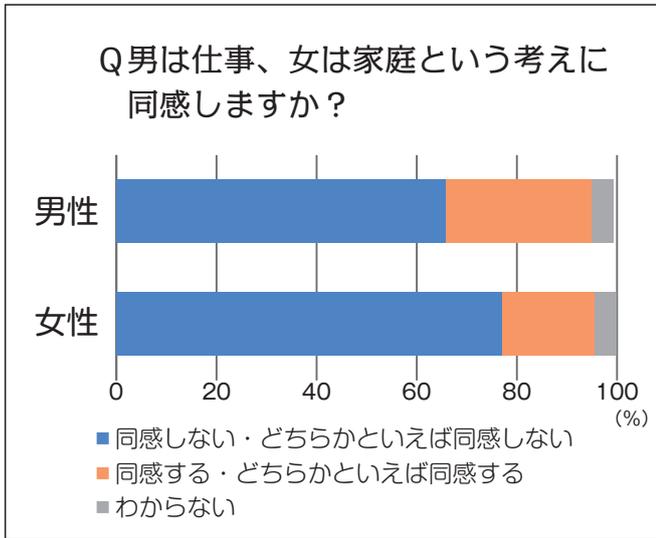


## 固定的性別役割分担意識とは？

「男性は仕事」、「女性は家庭」といった、個人の能力とは関係なく、性別を理由にして役割を固定的にわける考え方のことです。

潮来市で、令和元年に実施した市民意識調査においても、固定的性別役割分担について、同感しない（「どちらかといえば同感しない」を含む）と回答した方が多い一方、実際には、社会の意識や制度・慣行により、多様な選択ができていないと感じる方が多い結果となりました。



「令和元年潮来市市民意識調査」より

## 無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス） チェックシート ～家庭・コミュニティシーン編～

当てはまるものに  
☑を入れてください

親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	
女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない	
男性は人前で泣くべきではない	
女性には女性らしい感性があるものだ	
P T Aには女性が参加するべきだ	
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	
男性は結婚して家庭を持って一人前だ	
家事・育児は女性がするべきだ	
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	
女性は感情的になりやすい	
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	
女性には高い学歴やキャリアは必要ない	
自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	

（参考：男女共同参画局HP：https://www.gender.go.jp）

みなさんはいくつ当てはまりましたか？チェックの数が多い方は、無意識のうちに自身の可能性を制限してしまっている可能性があります。性別ではなく、その人らしい生き方ができるよう、改めて固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）について考えてみてはいかがでしょうか。

【お問合せ】 企画調整課 企画調整グループ ☎63-1111 内線213